


Lesson 2 Stay Hungry, Stay Foolish. Part1 複合関係代名詞

- ・ **複合関係代名詞**を復習しよう！！  関係代名詞に **ever** がくっついたもの。

ポイント

①関係代名詞を使っているので、後ろは不完全文。

②かたまりの品詞で意味が異なる。

(1)かたまりの品詞が**名詞** (文中で S,O,C,前置詞の目的語になる) ⇒ 「～でも」

(2)かたまりの品詞が**副詞** (文中で Mになる。おまけ) ⇒ 「たとえ～しようとも」

(1) {
whatever
whichever + **不完全文**
whoever

～するものは何でも
" どちらでも
" 誰でも

名詞節

「～でも」

(2) {
whatever
whichever + **不完全文**
whoever

たとえ何か (を) ～しようとも
たとえどちらが (を) ～しようとも
たとえ誰が (を) ～しようとも

副詞節 「たとえ～しようとも」 (譲歩)

～練習～ A と B の訳の違いは？ヒントは whoever ～ のかたまりの品詞！！

A I'll take him whoever wants to go.

B I'll take whoever wants to go.

?



答え

A I'll take him <whoever wants to go>.

S V O M

Aの文は、whoeverのかたまり<>の前までで、3文型の完全文。ということは、whoeverのかたまりはおまけ(M)、品詞は副詞。だから「たとえ～しようとも」という譲歩の意味で訳す。「たとえ誰が行きたがっても、私は彼を連れて行く」

B I'll take <whoever wants to go>.

S V O

Bの文はtake O「Oを連れて行く」のOの部分にwhoeverのかたまりがきている。Oの働きを言うことは**whoever**のかたまりの品詞は名詞。「～でも」という意味。「私は行きたい人は誰でも連れて行きます。」

ここまでの複合関係代名詞の基本です。それぞれの言い換えについてはLessonのまとめで説明します。今回の教科書の本文を理解するためにはもう少し知識が必要！

☆ここから本文に繋がります☆

～**whichever** と **whatever** の後ろに名詞が来る時は要注意！～

複合関係代名詞は関係代名詞に **ever** がついたものと説明しました。関係代名詞だから、後ろの名詞の代わり で後ろが不完全だと。

ただ、**whichever** と **whatever** は、形容詞的な働き をする時もあります。

疑問詞の **which** と **what** を思い出してもらえると分かり易いと思います。

- ① **Which class** are you in?
- ② **What kind** of music do you like best?

①「どのクラス」②「何の種類・・・」というように、**which** と **what** の疑問詞は後ろの名詞を修飾して形容詞の働きをすることもありましたね。(単独の場合は代名詞の働き)

このように、複合関係詞 **whichever** と **whatever** も後ろに名詞を持ってきて 形容詞の働き をすることもできます。

- ③ She likes < **whatever decision** you make >.
- ④ < **Whichever route** you take >, you can get to the lake.

形容詞的に使われている場合は「どんな名詞、どの名詞」、「どちらの名詞」というように名詞にかけて訳すのですが、かたまり全体の訳し方は1枚目で説明したものと同じ です。かたまり<>の品詞が名詞か副詞かで訳が変わりましたね。

ということで、③は、かたまりが like の目的語になっている＝名詞節なので、「君がする**どんな決定**でも彼女は気に入る。」④は **whoever** のかたまりがなくとも、後ろの文は成り立ちます。つまり、かたまりの部分はおまけ＝副詞。「たとえ**どちらの道**を取ったとしても、湖に行けます。」

今回の本文は...begin dropping in on < **whatever class** looked interesting >.

whatever が **class** にかかって、形容詞的な働き をしています。whatever のかたまり全体は on の後ろ(前置詞の後ろ)なので、名詞節です。「面白そうに見えるものは**どの授業**でも立ち寄り始めた(聴講し始めた)」という意味ですね。

形

↓

whatever
whichever + 名詞 ~

(1)

~するものは **どんな名詞**でも、**どの名詞**でも、
" **どちらの名詞**でも

「~でも」

名詞節

形

↓

whatever
whichever + 名詞 ~

(2)

たとえ **どんな(どの)** 名詞が (を) ~しようとも
たとえ **どちらの** 名詞が (を) ~しようとも

「たとえ~しようとも」(譲歩)

副詞節